

倫敦塔著「大機小機」日本経済新聞 2024年6月19日朝刊を読む

A | 時代とリベラルアーツの復権

1. (1)日本のデジタル競争力はスイスのビジネススクール IMD によれば世界 64 力国・地域で 32 位という。
(2)「人材」では 49 位、「デジタル・技術的スキル」では 63 位となっている。
(3)また「企業の俊敏性」や「ビッグデータ活用」では最下位の 64 位と、いずれも目を覆いたくなるような評価である。
2. 多くの日本企業が人的資本経営を掲げ、その一環としてリスクリング(学び直し)などによるデジタル人材の育成に注力するのも当然だ。
3. (1)加えて、次世代の人事を輩出する大学でも人工知能(AI)やデータサイエンス教育を拡充する動きが広がっている。
(2)文部科学省は数理・データサイエンス・AI をデジタル時代の「読み・書き・そろばん」と位置づけ、大学における教育プログラムの認定制度を 2021 年度から開始している。
4. 全ての学生がデジタルリテラシーを高め、また応用レベルの専門的な知識やスキルを磨く人材が増えれば、日本のデジタル競争力の向上につながると期待される。
5. (1)「AI が進化し、AI 自身の生産性が飛躍的に高まる中で、焦点となってくるのは人間がどう AI と向き合い、活用していくかだ。
(2)大学においても、いわゆる STEM 教育、すなわち、科学、技術、工学、数学の 4 分野は確かに重要だが、
(3)本質的な人間の能力を培うリベラルアーツの意義は増すことはあっても減じることはないだろう。
6. (1)求められているのは、
 - ①幅広い視野と、
 - ②長い時間軸で全体を俯瞰(ふかん)して考える概念的思考力、
 - ③先入観にとらわれない批判的思考能力、
 - ④問題の本質を見極めた上での問いの設定力である。(2)その際には、歴史学、哲学、倫理学、心理学など学際的なアプローチが有効となってくる。
7. (1)マイクロソフト創業者のビル・ゲイツ氏は、リベラルアーツの学位は将来の収入を制限す

るとまで語ったが、

(2)同社は今やリベラルアーツがテクノロジーの未来にとって重要だと軌道修正している。

(3)AI 新時代の大学に必要とされるのは本物のリベラルアーツ教育である。

8. そこで養われる

①『リーダーシップ』や

②『コミュニケーション力』こそ、日本企業の変革の上で不可欠なものとなろう。

<コメント>

(1)STEM 教育、つまり、科学・技術・工学・数学の基礎は、小学校・中学校・高校で学ぶ学習内容そのものなので、1教科もおろそかにしてはならないこと、もちろんです。

(2)同時に、リベラルアーツ、つまり、歴史学、哲学、倫理学、心理学などの基礎も、小学校、中学校、高校で学ぶ学習内容そのものなので、1教科もおろそかにしてはならないこと、もちろんです。

(3)①小学生は小学生として、中学生は中学生として、高校生は高校生として、各学年で学ぶことを、しっかり学び、「深い理解」と、その「定着」を目指す。

②「深い理解」とは「自分のことばで、いえる（いい表す・表現・説明できる）こと」と考えます。

③そのうえで、大学・専門学校での「STEM 教育」と「リベラルアーツ」を「積小為大」で、コツコツと「積み上げる」ことが、求められます。

(4)①小学生、中学生、高校生であっても、上級学年や、上級学校の学習範囲をどんどん先へ先へと、先取り学習、学んでいいのと同様に、

②リベラルアーツといわれる、歴史学や哲学、倫理学、心理学なども、図書館などで本を借りて、また、書店・古書店で本を買って求めて、興味関心がある分野・著者の作品に、よくはわからないまでも、挑戦することも、大切です。

③とりあえずは、本の前書きや、目次、第1章、あとがきを読むだけでも、参考になります。人生は長いですから、時間ができたら、じっくり読むのも一手です。

(5)①以前は、大学教育とは、「リベラルアーツ」を意味していました。

②医学や工学、法律や会計学などは、専門教育といい、大学で「リベラルアーツ」を十分に学んだ後に、専門学校で学ぶべきものとされていました。

③リベラルアーツを学ばないで、つまり、歴史学や哲学、倫理学、心理学などを学ばないで高度な専門家（高度専門職）になってはならないとすらいわれていました。

○「博士」は、Ph.D.つまり、Doctor of Philosophy 哲学を修めたひと

2024年6月19日（水）林明夫